

# 提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午後】
部会名	小学校 体育部会

## 1 提案テーマ 『踊る楽しさを全員で味わえる表現運動をめざして

～ICTを活用した学習活動の工夫～

## 2 単元(題材) 表現運動 「リズムダンス」

## 3 学年 第5学年

## 4 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

①学習目標と学習内容をより明確にした系統性のある指導と評価の工夫

## 5 学習指導要領との関連

第2章 第9節 体育 第2 各学年の目標及び内容 [第5学年及び第6学年]

2 内容 F 表現運動

(1) ア 表現では、いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ること。

3 内容の取り扱い

(4) 内容の「F表現運動」の(1)については、地域や学校の実態に応じてリズムダンスを加えて指導することができる。

## 6 実践に向けての課題意識

「表現運動」は学習指導要領の教科の目標や内容の目標に示されている「心と体を一体としてとらえる」、「楽しさや喜びにふれることのできる」運動として考えられる。また、「表現運動」を通して培える表現力やコミュニケーション能力は、子どもたちのさらなる成長の糧となる。特に、ビートのある曲にのせて踊るリズムダンスは、子どもたちが意欲的に取り組み、仲間との関わり合いを通して、思いきり体を動かす心地よさを体験できる。このような「表現運動」が、さらに充実した活動になるように実践に至った。

## 7 実践の概要

○子どもたちの「人前で踊る恥ずかしさ」をなくすために、教師自ら体を動かし、楽しみながら子どもたちと一緒に踊るようにした。

○踊りのバリエーションを増やせるように、基本的なリズムの取り方や体の使い方、簡単なステップを教えた。

○より発展的な技術の習得を図るため、教師自らがオリジナルのダンスDVDを作成し、休み時間や自宅で、子どもたちが主体的、かつ自分のペースで練習できるようにした。

○個々の技術の向上だけでなく、「ペアで踊る楽しさ」「集団で踊る楽しさ」等を体感させるため、ペアを変えて踊ったり、クラスを半分に分けて向かい合って踊るなど、様々な場を設定した。

○イメージする動きに近づけられるように、グループでの創作活動の際、ICT(タブレット)を活用させた。

○学習の集大成となる発表会を、クラスだけではなく学年全体で行った。さらに、学年全体の作品として、全校の学習発表会でも披露した。

## 8 成果と課題

○リズムの取り方や簡単なステップを覚えることで、踊りのバリエーションが増え、自信をつけることができた。

○自信がついたことで、「恥ずかしさ」を忘れて、体で大きく表現できるようになった。

○ICTを活用したことで、自分たちの動きを客観的に見ながら分析することができ、創作活動に生かすことができた。

○自分たちで創作した作品を発表し合うことで、お互いのグループの工夫を知るとともに、楽しむことができた。

△表現運動の目標の一つに置いた「友だちのよい動きを自分たちのダンスに取り入れる」ことに難しさを感じるグループがあった。

△発表時においてもタブレットを活用したが、十分な効果が得られず、ICTの活用場面の設定について課題が残った。

## 9 予想される協議の柱

- ・ICTの活用実践と、その学習効果について
- ・各学校での「表現運動」の取り組みについて